

 市場価格

ドル建て ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	910.60	2023/10/2
High	914.88	2023/10/2
Low	855.29	2023/10/6
Close	881.00	2023/10/6

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4380.00	2023/10/2
High	4402.00	2023/10/2
Low	4092.00	2023/10/6
Close	4229.00	2023/10/6

ドル建て ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1248.70	2023/10/2
High	1251.46	2023/10/2
Low	1135.29	2023/10/6
Close	1157.90	2023/10/6

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6015.00	2023/10/2
High	6036.00	2023/10/2
Low	5435.00	2023/10/6
Close	5577.00	2023/10/6

 ニュースエクスプレスコモディティ・セクターは金利の天井感とタイトな供給が支え
—貴金属

第3四半期のゴールドはドル高、米国金利回りの急上昇、そして FOMC がより高い金利をより長く継続する予測が強くなったにも関わらずあまり変動しないなど、貴金属は良好なパフォーマンスだった。しかし、米国も欧州もスタグレーションになるリスクが高まるにつれ、ゴールドやシルバー、あるいはゴールドよりも安いプラチナなどの貴金属投資には投資に有利な環境となる第4四半期になる可能性がある。

中央銀行は昨今のエネルギーセクターの乱高下などで悪化しているインフレ対策に迫られ、貴金属に有利な環境に変わる金利の天井がいつになるかはわからない。しかし Althea Spinuzzi が債券市場の展望について述べているように、硬直的なインフレに入れば今後の金利引き上げは可能性はある。引き上げ幅は既に小さくなっており、中には引き上げそのものを一時停止した中央銀行もある。つまり引き上げサイクルは終わりに近づいている、あるいは既に今後の引き上げはないという段階にあるかもしれない。

今後は、インフレが中央銀行の目標を上回っている中で、タカ派的態度を維持しながら金融政策の細かい舵取りを取ることになるだろう。しかし経済活動と地政学的リスクの弱まりで、本来なら債券と共に貴金属も強気になるはずなのだが、先行きは不透明だ。利回りが安定するにつれ、米国では投資家は上がり過ぎた実質金利が下がるという期待を強めている。

我々はゴールド、そしてシルバー、プラチナに対しても同様機嫌よく強気相場観を維持しており、ゴールドはいずれ新たな水準に達するだろう。だがそれがいつになるかは米国の経済データにかかっており、いつFOMC が金利引き上げから引き下げに転ずるか、そしてその間、前年同期にムラのある動きが見られるだろう。

<https://www.hercs.com/en-gb/content/articles/quarterly-outlook/commodity-sector-supported-by-peak-rates-tight-supply-focus-Q3102023>

電力供給、南アフリカの PGM 加工に引き続き影響

冬季のエスコンの正式な見解は、今年初めに比べて計画停電の回数が減る見込みとなっている。今から新年の間の計画停電は、発電所で予定外の停電が 14,500 MW 以上にならないければ、62 日間、ステージ4 以上にはならない予定だ。エスコンの水力発電所は世俗化がひどく安定性に欠け、今年の南アフリカが置かれている状況の反映となっている。予定外の停電は4月以降平均して 15,412 MW、エスコンによると年内もこれが続けばステージ5と6に等しく、ほぼ毎日計画停電があることになる。ステージ4以上の計画停電になると PGM 加工施設に影響がある可能性がある。

https://www.heraeus.com/media/media/hgm/doc_hgm/precious_metal_updates/en_6/Appraisal_20231002.pdf#mduytrtdv=4fox3dygWp93q20D1Mhw08kx3GutE4wag

Translated by Kazuko OSAWA

安価な水素調達が課題

日本の鉄鋼業においても安価な水素の大量調達が課題だ。鉄鋼業のCO2排出量は産業部門の約40%を占める。石炭を水素で代替する水素還元製鉄などの技術開発が進むが、2050年に約2000万トンの水素が鉄鋼業だけで必要になると試算される。現状では水素供給は全産業で約400万トンにとどまる。しかも再生可能エネルギーによるグリーン水素の国内コストは高い、安く潤沢な水素を求め産業の形が変化し始めている。

日本製鉄グループは傘下のスウェーデン企業での熱処理工程で現地生産した水素を活用する。施設タンクは水素コストが安い国で鉄鋼素材をつくり取引する「グリーン鉄貿易」による世界規模での販路を提唱する。EUの国境炭素税が変化を加速させるのは間違いないだろう。

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ075069290W3A001C27CR000/>

東芝、イリジウムの供給網構築 フルヤ金属と提携

東芝は5日、フルヤ金属と希少金属「イリジウム」の供給網構築に向けて提携すると発表した。イリジウムは、東芝がつくる水素製造装置に欠かせない部材に使われる。水素は燃料電池車（FCV）や工場などで利用が増えると見込まれており、東芝は安定的に装置を生産できる体制を整える。

東芝子会社の東芝エネルギーシステムズとフルヤ金属が9月29日に覚書を締結した。フルヤ金属はイリジウムをはじめとした希少金属の取り扱いやリサイクル技術に強みを持つ。

東芝は再生可能エネルギーを活用した「グリーン水素」の製造装置を開発しており、イリジウムは電力を水素へ変換する際の中核部材に使われる。イリジウムは世界の年間生産量がわず約7トンで、価格も上昇傾向にある。水素エネルギーの需要拡大に伴って世界でイリジウムの需要は高まる見通しだ。

<https://www.nikkei.com/article/DGKZQUC054H0V01C3A000000/>

 WPC直近の活動

上海プラチナ・ウィーク2024—この日を逃すな！4年目を迎える上海プラチナウィーク2024は、2024年7月8日～12日に開催予定。詳細は過ってお知らせ致しますが、スポンサーシップや講演の機会にご興味のある方、または参加をご希望の方は、wlin@platinuminvestment.com またはメールにてご連絡ください。登録は無料です。詳しくは以下をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/events/shanghai-platinum-week-2024>



@wpcplatin

貴金属部、本資料は情報提供に過ぎず、WPCの投資勧誘を意図するものではありません。また、そのように解釈されるべきでもありません。